

駒井哲郎 版画家。空襲で全て失うも、すぐに再開して、次々と傑作、現代日本銅版画の世界を切り開いた。

こまいてつろう

大暴落・・・1920 = 東京の魚河岸で氷問屋の家に生れた。

原敬首相暗殺 1921 = 1歳 :

関東大震災・1923 = 3歳 : 関東大震災で被災、この体験の記憶が焼き付く。五反田に転居。

世界恐慌・・・1929 = 9歳 :

満州事変・・・1931 = 11歳 :

国際連盟脱退 1933 = 13歳 : 慶応義塾幼稚舎を卒業、普通部に進み、図画教師の影響を受ける。

芥川直木賞始 1935 = 15歳 : **銅版画を知り、日本エッチング研究所に通い、作品と論を発表。プレス機を購入。**

日中戦争始・1937 = 17歳 : **銅版画講習会の講師として、研究所の主宰者西田武雄について九州各地を回り、恩地孝四郎と出会う。**
健保+総動員 1938 = 18歳 : 慶応義塾普通部を卒業、東京美術学校西洋画科予科に入学。家業の店の二階にアトリエを設ける。
第二次大戦始 1939 = 19歳 : 本科に進む。麻布に転居。

日米開戦・・・1941 = 21歳 : **新文展で「川岸」が初入選。**
・・・1942 = 22歳 : 東京外国語学校フランス語専修科に入り、夜間通学。東京美術学校を繰り上げ卒業。父が病没。
創価学会検挙 1943 = 23歳 : 修了。松田平田設計事務所就職。
年金+総武装 1944 = 24歳 : 召集。
敗戦・・・1945 = 25歳 : **東京大空襲で、店舗や製氷工場、自邸とともに、それまで制作してきたものを失う。疎開、**

新憲法施行・1947 = 27歳 : 寄宿の後、世田谷の新居に住む。**恩地孝四郎の(一木会)同人となる。**
極東裁判判決・1948 = 28歳 : **日本版画協会展に旧作を初出品し、会員に推挙される。以後、25年同展に発表し続ける。**

朝鮮戦争始・1950 = 30歳 : ***春陽会展に9作品を出品、「孤独な鳥」が春陽会賞、知られるようになる。以後同展に、没するまで発表。**
独立回復・・・1951 = 31歳 : **選抜秀作美術展に選ばれ出品。春陽会会員に推挙される。日本美術界が戦後初めて海外に進出した第一回サンパウロ・ビエンナーレに「束の間の幻影」を出品、斎藤清とともに在聖日本人賞。**
メデー事件・1952 = 32歳 : 青柳瑞穂に挿絵した詩画集「マルドロオルの歌」刊行。吉川美子と知り合う。***春陽会に版画部ができ、審査員となる。スイスでの白と黒国際展で、「束の間の幻影」が国際次賞。サロン・ド・メ日本作家の一人に選ばれ出品。国公美術館の企画展に代表作が出されるようになる。**

TV放送始・・・1953 = 33歳 : 家業の製氷会社が倒産、自活を意識。**最初の個展開催。関野準一郎らと「日本銅版画協会」を結成。**

自衛隊発足・1954 = 34歳 : **渡仏し、フランス国立美術学校に入学。名品に接し、衝撃を受ける。長谷川潔と親交。**

55年体制始・1955 = 35歳 : ドイツやユーゴスラヴィアの展覧会に出品した後、帰国。

国連加盟・・・1956 = 36歳 : 美子と結婚。**現代日本美術展に招待出品、以後続く。銀座の南画廊開廊で個展。東野芳明の駒井哲郎論。**

なべ底不況・1957 = 37歳 : **三島由紀夫、安岡章太郎の著書の装幀をてがげ、以後一流作家の本の装幀多数。**

イヌカトラーメ・1958 = 38歳 : 女子美術大学非常勤講師。

美智子妃・・・1959 = 39歳 : 東京芸術大学非常勤講師。**「果実」が日本版画協会賞。「鳥と果実」がプリズトン美術館賞。**

安保闘争・・・1960 = 40歳 : 日本版画協会委員、春陽会委員。回顧展カタログに、大岡信の駒井哲郎論。

全国総合計画 1962 = 42歳 : 多摩美術大学非常勤講師。長男誕生。**フィレンツェ素描アカデミー名誉会員。**

TV宇宙中継始 1963 = 43歳 : 交通事故に遭い、両下肢を骨折、1年間療養。

大学紛争始・1965 = 45歳 : **その後も招待出品を中心に作品を次々制作、また、作家の著書に作品が収録される。**

いざなぎ景気 1966 = 46歳 : 長女誕生。

霞ヶ関ビル・1968 = 48歳 : 母が死去。

大阪万博・・・1970 = 50歳 : 夫妻で渡欧。**銅版画集「夜のコンポジション」「九つの夢から」刊行。多摩美術大学教授となるが、**

ドルショック・・・1971 = 51歳 : **辞職し、東京芸術大学助教授となり、**

日中国交回復 1972 = 52歳 : **東京芸術大学美術学部教授となった。**

石油ショック 1973 = 53歳 : ***「駒井哲郎銅版画作品集」刊行。しきりに疲労を訴えるようになり、**

角栄金脈辞任 1974 = 54歳 : **舌癌で入院、手術を受けて、退院し、**

アラン・ル事件 1975 = 55歳 : 単身渡仏して、長谷川潔を訪ねたりするが、

田中角栄逮捕 1976 = 56歳 : ***癌が肺に転移、激痛の中、絶筆「静物」を制作し、没した。**